

補強土壁工法に使用する盛土材料の一般的土質試験は下記に示す項目が必要です。
 必須の試験項目としては 印の項目です。

盛土材料試験項目

試験項目	試験法	得られるデータ	備考	補強土必須	基準値
土の含水量試験	JIS A 1203	自然含水比(n)	地山		
土の粒度試験	JIS A 1204	粒度特性			細粒分が25%以下
岩のスレーキング試験	JHS 110-199Z	スレーキング率		スレーキングの可能性がある場合	スレーキング率30%以下
土粒子の比重試験	JIS A 1202	土粒子の比重			
土の液性限界試験	JIS A 1205	コンシステンシー特性			
土の塑性限界試験	JIS A 1206	コンシステンシー特性			
土の締固め試験	JIS A 1210	締固め特性	A法またはB法		締固め度 最大乾燥密度の
砂置換法による土の密度試験	JIS A 1214	土の単位体積重量	地山		90%以上
土の三軸圧縮試験	JIS A 1203	粘着力、内部摩擦角		設計値の確認が必要な場合	
pH試験	JGS 0211	pH値		腐食に対する影響が懸念される場合	5～12の範囲
電気比抵抗試験	土質工学会基準	電気比抵抗値		腐食に対する影響が懸念される場合	5000 cm以上
塩化物硫化物含有量試験	土質工学会基準	塩化物硫化物含有量		腐食に対する影響が懸念される場合	塩化物0.02% 硫化物0.03%以下